

令和5年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金
(地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画づくり支援事業)
審査委員会総評

■第1号事業の1：地域の再エネ目標と意欲的な脱炭素の取組の検討による計画策定支援事業

概ね、評価は以下のとおり。

- ・2050年までの脱炭素社会を見据えた適切な再エネ導入目標を、地域の現状分析を踏まえ作成している申請を高く評価した。
- ・脱炭素施策を通して地域課題の解決に取り組む申請を高く評価した。
- ・目標策定及び脱炭素に取り組む推進体制に様々な地域関係者、特に地域金融機関を含めることで、中長期的な計画の実行性を高める工夫がみられる申請を高く評価した。

■第1号事業の2：再エネ促進区域の設定等に向けたゾーニング支援事業

概ね、評価は以下のとおり。

- ・本事業により作成されたゾーニング報告書の公表及び地方公共団体実行計画（区域施策編）への反映を前提としており、地域の特性及び条件等に対する適切な認識のもと計画された事業で、本事業と一体となって実施する合意形成の取組が計画されている申請を高く評価した。

■第1号事業の3：公共施設等への太陽光発電設備等の導入調査支援事業

概ね、評価は以下のとおり。

- ・地域脱炭素ロードマップ等に位置付けられた率先導入目標（2030年には設置可能な建築物等の約50%に太陽光発電設備を導入等）の達成を見据えた調査を想定している申請を高く評価した。
- ・本事業の趣旨に沿った具体的かつ説得力ある調査の中で、費用対効果の高い申請を高く評価した。

■第1号事業の4：官民連携で行う地域再エネ事業の実施・運営体制構築支援事業

概ね、評価は以下のとおり。

- ・事業活動の開始に至るスキームが具体的に検討され、実現可能性の高い申請を高く評価した。

■不備のあった申請書の例

- ・補助事業要件として定める期限（事業完了日等）を超過する申請
- ・補助事業要件として定める地方公共団体実行計画の策定期間の記載がない、又は期限を超過している申請
- ・事業内容（調査、検討等）が補助事業要件から逸脱した申請
- ・必須書類の添付が無い申請

■その他

- ・本補助事業を通じて、各地方公共団体の地域に根ざした目標が策定され、地方創生とともに課題の解決につながることを期待したい。
- ・本補助事業を通じて、地域脱炭素及び再エネに関する知識が各地方公共団体に定着し、さらなる取組が生まれることを期待したい。
- ・計画の策定を通じて、各地域の特性を生かした脱炭素の具体的な取り組みが数多く生まれ、実践されていくことに期待したい。
- ・多くの地方公共団体から申請があり、予算の関係上、多くの団体を不採択とせざるを得なかったことは残念であった。

以上